

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2037年2月20日まで（2020年10月21日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型



第17期（決算日：2022年3月23日）
 第18期（決算日：2022年4月25日）
 第19期（決算日：2022年5月23日）
 第20期（決算日：2022年6月23日）
 第21期（決算日：2022年7月25日）
 第22期（決算日：2022年8月23日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）予想分配金提示型」は、去る8月23日に第22期の決算を行いましたので、法令に基づいて第17期～第22期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◆ 当作成期の運用で主眼を置いたポイント

- ・ 当作成期はロシア・ウクライナ情勢への懸念に加え、インフレや各国中央銀行による金融引き締め政策に対する懸念が継続しました。運用チームは、このような不安定なマクロ環境下において、価格決定力によりコスト上昇を顧客に転嫁し、継続的に収益を得ることのできる高クオリティ企業の優位性が高まると想定しました。有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、従来通りの運用方針を維持しました。
- ・ 主な投資行動としては、1銘柄の新規組入と1銘柄の全売却を行いました。新規組入は、信用情報サービスの提供などを手掛けるEQUIFAX INC（米国）を組み入れました。一方で、金融業界などに向けたデータ提供を手掛けるFACTSET RESEARCH SYSTEMS INC（米国）を全売却しました。また、当作成期における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。
- ・ 保有銘柄のうち、2022年4－6月期決算発表と同時に、年間の業績見通しの引き下げを発表したBAXTER INTERNATIONAL INC（米国）の下落などがマイナスに影響しました。

◆ 今後の見通し

- ・ 原材料価格や輸送費の上昇といったコストの上昇要因があるにもかかわらず、市場全体の予想営業利益率は高水準にあり、1株当たり利益（予想EPS）の下落リスクが高まっていると見ています。運用チームは、予想EPSの下落リスクが高まっていることや米国の急速な利上げなどを理由に、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

◆ 運用方針

- ・ 不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。各国中央銀行の金融政策やロシア・ウクライナ情勢などを巡り不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム

運用責任者

ウィリアム・ロック



ファンド・マネジャー

ブルーノ・ポールソン

上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税分 分配	み 金騰 落	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		円		%	%	%	百万円
2020年10月21日	10,000		—	—	10,000	—	—	1
1期(2020年11月24日)	9,999		0	△0.0	10,525	5.2	89.7	1,332
2期(2020年12月23日)	10,218		10	2.3	10,932	3.9	92.6	1,894
3期(2021年1月25日)	10,171		10	△0.4	11,407	4.3	92.0	2,113
4期(2021年2月24日)	10,158		10	△0.0	11,557	1.3	92.8	2,282
5期(2021年3月23日)	10,395		10	2.4	11,658	0.9	93.0	2,803
6期(2021年4月23日)	11,002		100	6.8	12,155	4.3	93.8	3,283
7期(2021年5月24日)	10,800		50	△1.4	12,257	0.8	93.1	3,449
8期(2021年6月23日)	10,964		50	2.0	12,511	2.1	93.7	3,497
9期(2021年7月26日)	11,316		100	4.1	12,819	2.5	92.8	3,784
10期(2021年8月23日)	11,228		100	0.1	12,866	0.4	92.8	4,238
11期(2021年9月24日)	11,184		100	0.5	12,990	1.0	94.7	4,908
12期(2021年10月25日)	11,161		100	0.7	13,193	1.6	93.3	5,461
13期(2021年11月24日)	11,185		100	1.1	13,398	1.6	93.7	6,160
14期(2021年12月23日)	11,463		100	3.4	13,353	△0.3	92.6	6,895
15期(2022年1月24日)	10,826		100	△4.7	12,696	△4.9	93.4	6,540
16期(2022年2月24日)	10,349		50	△3.9	12,222	△3.7	92.8	6,489
17期(2022年3月23日)	10,440		10	1.0	12,794	4.7	89.9	6,851
18期(2022年4月25日)	10,193		50	△1.9	12,152	△5.0	93.0	7,583
19期(2022年5月23日)	9,661		0	△5.2	11,223	△7.7	91.5	7,404
20期(2022年6月23日)	9,353		0	△3.2	10,736	△4.3	94.7	7,256
21期(2022年7月25日)	9,799		0	4.8	11,227	4.6	94.3	7,704
22期(2022年8月23日)	10,070		10	2.9	11,605	3.4	95.0	7,741

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第17期	(期 首) 2022年 2月24日	円 10,349	% —	12,222	% —	% 92.8	% —
	2月末	10,567	2.1	12,525	2.5	93.7	—
	(期 末) 2022年 3月23日	10,450	1.0	12,794	4.7	89.9	—
第18期	(期 首) 2022年 3月23日	10,440	—	12,794	—	89.9	—
	3月末	10,598	1.5	13,042	1.9	94.2	—
	(期 末) 2022年 4月25日	10,243	△1.9	12,152	△5.0	93.0	—
第19期	(期 首) 2022年 4月25日	10,193	—	12,152	—	93.0	—
	4月末	10,118	△0.7	11,839	△2.6	94.9	—
	(期 末) 2022年 5月23日	9,661	△5.2	11,223	△7.7	91.5	—
第20期	(期 首) 2022年 5月23日	9,661	—	11,223	—	91.5	—
	5月末	10,110	4.6	11,900	6.0	95.8	—
	(期 末) 2022年 6月23日	9,353	△3.2	10,736	△4.3	94.7	—
第21期	(期 首) 2022年 6月23日	9,353	—	10,736	—	94.7	—
	6月末	9,558	2.2	10,897	1.5	95.2	—
	(期 末) 2022年 7月25日	9,799	4.8	11,227	4.6	94.3	—
第22期	(期 首) 2022年 7月25日	9,799	—	11,227	—	94.3	—
	7月末	10,033	2.4	11,478	2.2	93.5	—
	(期 末) 2022年 8月23日	10,080	2.9	11,605	3.4	95.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

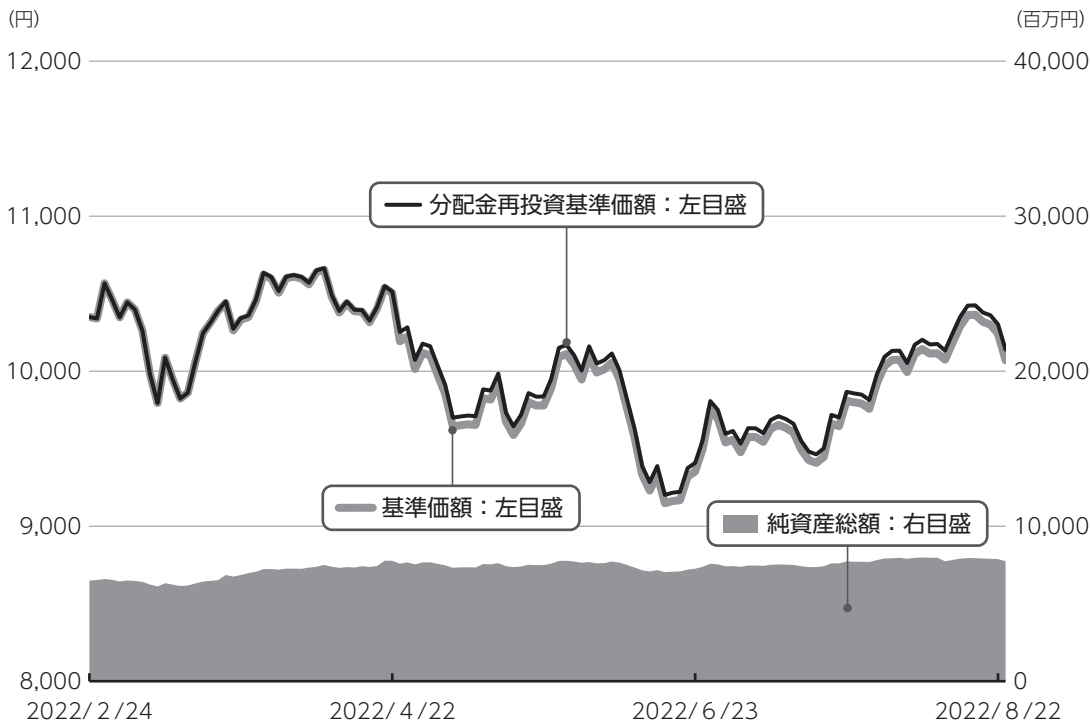
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第17期～第22期：2022年2月25日～2022年8月23日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第17期首	10,349円
第22期末	10,070円
既払分配金	70円
騰落率	-2.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

AUTOMATIC DATA PROCESSING（米国）や RECKITT BENCKISER GROUP PLC（英国）の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めに起因する米国の景気後退懸念などを背景に先進国株式市場が下落したことや、BAXTER INTERNATIONAL INC（米国）や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）の株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第17期～第22期：2022年2月25日～2022年8月23日

投資環境について

参考指数の推移（当作成期首を100として指数化）



株式市況

先進国株式市場は下落しました。

当作成期首から2022年5月にかけては、F R Bによる金融引き締めに起因する米国の景気後退懸念やウクライナ情勢に対する懸念などから下落しました。

6月から当作成期末にかけては、好調な企業決算などを背景に上昇する局面があったものの、F R Bによる大幅利上げへの懸念が高まったことなどを背景に、下落しました。

セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融などが下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針となっており、方針に基づいてヘッジを行いました。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

新規組入銘柄

EQUIFAX INC（米国）：同社が手掛ける、信用情報サービスを提供する事業などの成長性や、株価の割安性などを評価して新規に組み入れました。

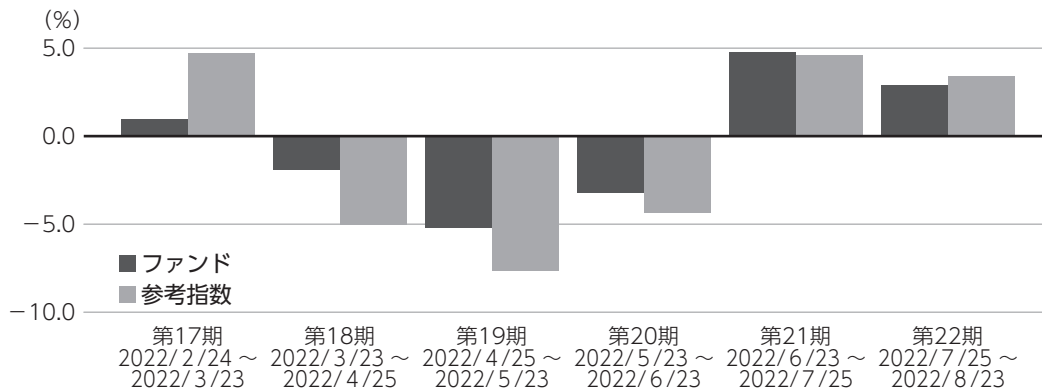
全売却銘柄

FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC（米国）：株価の割安性が低下していると判断したことなどから、全株売却しました。

第17期～第22期：2022/2/25～2022/8/23

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は、MSCIワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第17期 2022年2月25日～ 2022年3月23日	第18期 2022年3月24日～ 2022年4月25日	第19期 2022年4月26日～ 2022年5月23日	第20期 2022年5月24日～ 2022年6月23日	第21期 2022年6月24日～ 2022年7月25日	第22期 2022年7月26日～ 2022年8月23日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.096%)	50 (0.488%)	－ (－%)	－ (－%)	－ (－%)	10 (0.099%)
当期の収益	7	－	－	－	－	10
当期の収益以外	2	50	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,193	1,144	1,160	1,160	1,176	1,178

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかる方針です。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2022年2月25日～2022年8月23日

1万口当たりの費用明細

項目	第17期～第22期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	98	0.976	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(57)	(0.570)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.380)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.012	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.012)	
(d) その他費用	1	0.008	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	100	0.999	

作成期中の平均基準価額は、9,988円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

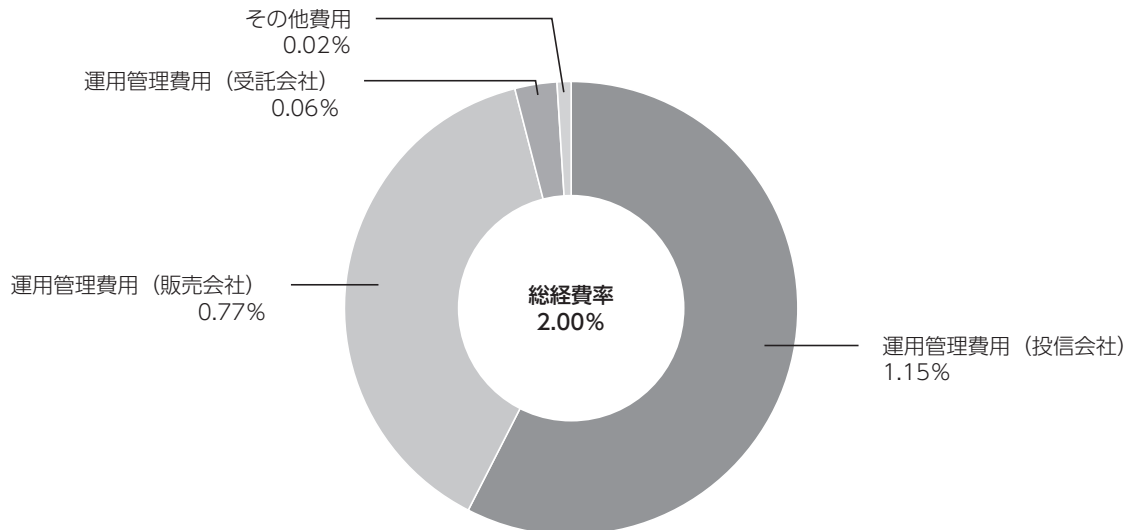
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.00%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月25日～2022年8月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第17期～第22期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 643,941	千円 3,263,983	千口 565,475	千円 2,898,078

○株式売買比率

(2022年2月25日～2022年8月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第17期～第22期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	82,887,261千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	269,491,389千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月25日～2022年8月23日)

利害関係人との取引状況

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）予想分配金提示型>

区 分	第17期～第22期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 44,036	百万円 13,851	% 31.5	百万円 44,460	百万円 14,224	% 32.0

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年8月23日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第16期末	第22期末	
	口 数	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 1,306,179	千口 1,384,645	千円 7,511,700

○投資信託財産の構成

(2022年8月23日現在)

項 目	第22期末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 7,511,700	% 93.3
コール・ローン等、その他	539,629	6.7
投資信託財産総額	8,051,329	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(313,061,616千円)の投資信託財産総額(313,769,909千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=137.30円	1 ユーロ=136.46円	1 イギリスポンド=161.71円	1 スイスフラン=142.43円
1 スウェーデンクローネ=12.82円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
	2022年3月23日現在	2022年4月25日現在	2022年5月23日現在	2022年6月23日現在	2022年7月25日現在	2022年8月23日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,320,019,282	14,753,750,445	14,227,475,652	14,523,307,147	14,976,586,283	15,362,562,454
コール・ローン等	831,983,638	841,839,706	417,363,065	611,661,143	270,846,302	436,888,091
$\frac{\text{モルガン・スタンレー・グローバル・プレミアム株式オープン}}{\text{の運用資産のうち、外国有価証券に投資しているもの}}$	6,281,668,893	7,159,177,676	6,981,731,749	7,039,956,728	7,474,444,858	7,511,700,161
未収入金	6,206,366,751	6,752,733,063	6,828,380,838	6,871,689,276	7,231,295,123	7,413,974,202
(B) 負債	6,468,254,893	7,170,367,611	6,822,817,761	7,266,837,702	7,272,391,961	7,620,636,141
未払金	6,452,298,309	7,120,103,918	6,791,249,426	7,254,287,540	7,236,764,944	7,595,437,707
未払収益分配金	6,562,724	37,197,242	—	—	—	7,688,160
未払解約金	—	—	20,123,992	—	22,634,073	5,090,690
未払信託報酬	9,373,640	13,038,887	11,420,767	12,524,037	12,966,540	12,394,028
未払利息	1,481	1,499	743	1,089	482	778
その他未払費用	18,739	26,065	22,833	25,036	25,922	24,778
(C) 純資産総額(A－B)	6,851,764,389	7,583,382,834	7,404,657,891	7,256,469,445	7,704,194,322	7,741,926,313
元本	6,562,724,166	7,439,448,584	7,664,552,940	7,758,562,281	7,862,547,197	7,688,160,540
次期繰越損益金	289,040,223	143,934,250	△ 259,895,049	△ 502,092,836	△ 158,352,875	53,765,773
(D) 受益権総口数	6,562,724,166口	7,439,448,584口	7,664,552,940口	7,758,562,281口	7,862,547,197口	7,688,160,540口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,440円	10,193円	9,661円	9,353円	9,799円	10,070円

○損益の状況

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2022年2月25日～ 2022年3月23日	2022年3月24日～ 2022年4月25日	2022年4月26日～ 2022年5月23日	2022年5月24日～ 2022年6月23日	2022年6月24日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月23日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 13,080	△ 23,536	△ 13,613	△ 21,549	△ 14,230	△ 13,428
支払利息	△ 13,080	△ 23,536	△ 13,613	△ 21,549	△ 14,230	△ 13,428
(B) 有価証券売買損益	75,534,737	△134,753,937	△ 388,203,513	△ 227,278,858	361,458,806	226,002,822
売買益	374,872,628	553,907,884	405,380,241	298,411,206	396,881,024	597,601,810
売買損	△299,337,891	△688,661,821	△ 793,583,754	△ 525,690,064	△ 35,422,218	△371,598,988
(C) 信託報酬等	△ 9,392,379	△ 13,064,952	△ 11,443,600	△ 12,549,073	△ 12,992,462	△ 12,418,806
(D) 当期損益金 (A+B+C)	66,129,278	△147,842,425	△ 399,660,726	△ 239,849,480	348,452,114	213,570,588
(E) 前期繰越損益金	△264,664,359	△204,525,744	△ 385,825,063	△ 769,258,168	△1,004,538,629	△633,380,057
(F) 追加信託差損益金	494,138,028	533,499,661	525,590,740	507,014,812	497,733,640	481,263,402
(配当等相当額)	(483,266,980)	(588,987,072)	(617,906,485)	(634,882,074)	(648,331,490)	(637,565,304)
(売買損益相当額)	(10,871,048)	(△ 55,487,411)	(△ 92,315,745)	(△ 127,867,262)	(△ 150,597,850)	(△156,301,902)
(G) 計 (D+E+F)	295,602,947	181,131,492	△ 259,895,049	△ 502,092,836	△ 158,352,875	61,453,933
(H) 収益分配金	△ 6,562,724	△ 37,197,242	0	0	0	△ 7,688,160
次期繰越損益金 (G+H)	289,040,223	143,934,250	△ 259,895,049	△ 502,092,836	△ 158,352,875	53,765,773
追加信託差損益金	494,138,028	533,499,661	525,590,740	507,014,812	497,733,640	481,263,402
(配当等相当額)	(483,523,661)	(589,636,586)	(618,382,636)	(635,065,497)	(648,512,509)	(637,660,687)
(売買損益相当額)	(10,614,367)	(△ 56,136,925)	(△ 92,791,896)	(△ 128,050,685)	(△ 150,778,869)	(△156,397,285)
分配準備積立金	299,676,389	261,643,288	270,769,935	265,176,008	276,508,440	268,749,426
繰越損益金	△504,774,194	△651,208,699	△1,056,255,724	△1,274,283,656	△ 932,594,955	△696,247,055

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 6,270,349,001円
 作成期中追加設定元本額 2,127,706,578円
 作成期中一部解約元本額 709,895,039円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0070円です。

② 分配金の計算過程

項 目	2022年2月25日～ 2022年3月23日	2022年3月24日～ 2022年4月25日	2022年4月26日～ 2022年5月23日	2022年5月24日～ 2022年6月23日	2022年6月24日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月23日
費用控除後の配当等収益額	4,757,932円	－円	11,638,771円	－円	12,533,092円	9,498,808円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	483,523,661円	589,636,586円	618,382,636円	635,065,497円	648,512,509円	637,660,687円
分配準備積立金額	301,481,181円	298,840,530円	259,131,164円	265,176,008円	263,975,348円	266,938,778円
当ファンドの分配対象収益額	789,762,774円	888,477,116円	889,152,571円	900,241,505円	925,020,949円	914,098,273円
1万円当たり収益分配対象額	1,203円	1,194円	1,160円	1,160円	1,176円	1,188円
1万円当たり分配金額	10円	50円	－円	－円	－円	10円
収益分配金金額	6,562,724円	37,197,242円	－円	－円	－円	7,688,160円

③ 「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

○分配金のお知らせ

	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	50円	0円	0円	0円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第21期》決算日2022年8月23日

[計算期間：2022年2月25日～2022年8月23日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
8月23日に第21期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		（参考指数） MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率			
17期(2020年8月24日)	円	%	円	%		%	%	%	百万円
17期(2020年8月24日)	37,118	2.1	105.80	△ 4.6	22,140	3.6	98.6	—	157,527
18期(2021年2月24日)	38,596	4.0	105.41	△ 0.4	25,974	17.3	98.2	—	157,768
19期(2021年8月23日)	46,426	20.3	109.85	4.2	28,918	11.3	97.6	—	210,406
20期(2022年2月24日)	47,149	1.6	114.95	4.6	27,470	△ 5.0	97.8	—	239,602
21期(2022年8月23日)	54,250	15.1	137.30	19.4	26,082	△ 5.0	97.9	—	312,686

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022年2月24日	47,149	—	114.95	—	27,470	—	97.8	—
2月末	48,306	2.5	115.55	0.5	28,150	2.5	96.1	—
3月末	51,374	9.0	122.39	6.5	29,313	6.7	96.8	—
4月末	51,232	8.7	128.86	12.1	26,609	△ 3.1	97.3	—
5月末	51,203	8.6	128.21	11.5	26,746	△ 2.6	97.3	—
6月末	51,259	8.7	136.68	18.9	24,491	△10.8	97.5	—
7月末	53,142	12.7	134.61	17.1	25,797	△ 6.1	97.5	—
(期 末) 2022年8月23日	54,250	15.1	137.30	19.4	26,082	△ 5.0	97.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

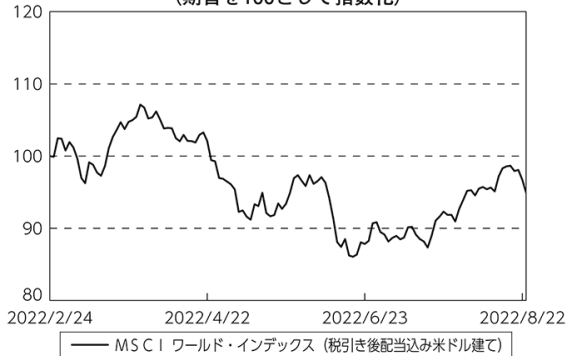
AUTOMATIC DATA PROCESSING (米国) や RECKITT BENCKISER GROUP PLC (英国) の株価が上昇したことや、為替市況で米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

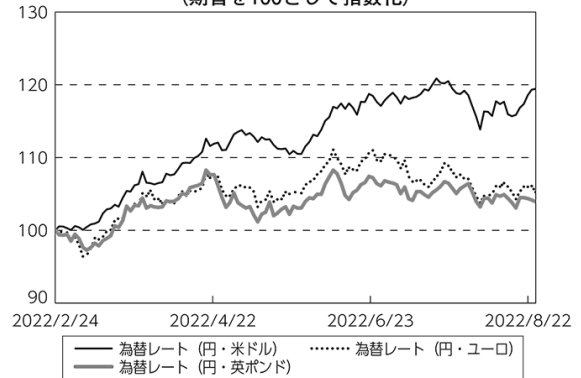
米連邦準備制度理事会 (FRB) による金融引き締め起因する米国の景気後退懸念などを背景に先進国株式市場が下落したことや、BAXTER INTERNATIONAL INC (米国) や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL (米国) の株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

参考指数の推移
(期首を100として指数化)



為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市場は下落しました。
- ・期首から2022年5月にかけては、FRBによる金融引き締め起因する米国の景気後退懸念やウクライナ情勢に対する懸念などから下落しました。
- ・6月から期末にかけては、好調な企業決算などを背景に上昇する局面があったものの、FRBによる大幅利上げへの懸念が高まったことなどを背景に、下落しました。
- ・セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融などが下落しました。

◎為替市況

- ・米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。
- ・米国金利上昇による日米金利差の拡大などを背景に、米ドルは対円で上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）やイングランド銀行（BOE）が金融引き締め積極的に姿勢を示したことなどを背景に、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎新規組入銘柄

- ・ EQUIFAX INC (米国) : 同社が手掛ける、信用情報サービスを提供する事業などの成長性や、株価の割安性などを評価して新規に組み入れました。

◎全売却銘柄

- ・ FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC (米国) : 株価の割安性が低下していると判断したことなどから、全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・ 不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月25日～2022年8月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.013 (0.013)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	11	0.022	
期中の平均基準価額は、50,732円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月25日～2022年8月23日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 21,419 (577)	千アメリカドル 343,063 (-)	百株 11,115	千アメリカドル 162,286
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,008	28,269	65	671
	フランス	1,016	41,435	505	9,830
	オランダ	2,328	11,535	89	335
	イギリス	528	1,428	376	957
	イギリス	7,306	千イギリスポンド 28,697	1,588	千イギリスポンド 3,927

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年2月25日～2022年8月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	83,179,987千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	269,491,389千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月25日～2022年8月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月23日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	7,639	7,714	82,893	11,381,319	ヘルスケア機器・サービス	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,577	2,624	67,274	9,236,841	ソフトウェア・サービス	
ACCENTURE PLC-CL A	2,934	3,759	116,536	16,000,410	ソフトウェア・サービス	
BAXTER INTERNATIONAL INC	11,111	12,781	76,268	10,471,651	ヘルスケア機器・サービス	
BECTON DICKINSON AND CO	3,220	3,217	83,887	11,517,782	ヘルスケア機器・サービス	
COCA-COLA CO/THE	6,890	7,186	46,137	6,334,655	食品・飲料・タバコ	
DANAHER CORP	3,629	4,477	128,053	17,581,791	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EQUIFAX INC	—	1,929	40,079	5,502,954	商業・専門サービス	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	755	1,216	32,263	4,429,773	家庭用品・パーソナル用品	
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	208	—	—	—	各種金融	
MOODY'S CORP	713	826	25,157	3,454,081	各種金融	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	6,347	5,053	75,457	10,360,375	家庭用品・パーソナル用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,008	1,139	48,113	6,605,930	ソフトウェア・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,710	1,838	105,918	14,542,596	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	4,627	5,329	51,948	7,132,487	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	1,632	2,757	30,422	4,177,055	耐久消費財・アパレル	
MICROSOFT CORP	6,332	7,318	203,276	27,909,841	ソフトウェア・サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	6,117	8,310	89,608	12,303,270	各種金融	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTION	1,506	1,924	33,603	4,613,765	ソフトウェア・サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	18,374	16,402	161,219	22,135,394	食品・飲料・タバコ	
VISA INC-CLASS A SHARES	5,475	6,517	135,963	18,667,809	ソフトウェア・サービス	
ZOETIS INC	1,276	1,471	24,279	3,333,602	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
STERIS PLC	199	459	9,441	1,296,333	ヘルスケア機器・サービス	
OTIS WORLDWIDE CORP	2,618	4,534	35,067	4,814,835	資本財	
小計	株数・金額	97,908	108,789	1,702,873	233,804,557	
	銘柄数<比率>	23	23	—	<74.8%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	7,802	10,745	95,828	13,076,812	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	7,802	10,745	95,828	13,076,812	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.2%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	468	837	57,134	7,796,640	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	794	1,176	42,580	5,810,525	家庭用品・パーソナル用品	
PERNOD RICARD SA	2,213	1,975	38,365	5,235,361	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	3,476	3,988	138,080	18,842,527	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<6.0%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	7,168	8,318	8,572	1,169,786	食品・飲料・タバコ	
HEINEKEN NV	4,101	5,190	49,140	6,705,652	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	11,269	13,508	57,712	7,875,438	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.5%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	百株 3,720	百株 3,872	千ユーロ 11,183	千円 1,526,040	商業・専門サービス
小計	株数・金額 3,720	株数 3,872	11,183	1,526,040	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.5%>	
ユーロ計	株数・金額 26,269	32,115	302,805	41,320,818	
	銘柄数<比率>	7	—	<13.2%>	
(イギリス) RELX PLC RECKITT BENCKISER GROUP PLC EXPERIAN PLC	14,178 17,134 5,453	14,784 19,859 7,840	千イギリスポンド 36,073 133,969 22,211	5,833,374 21,664,249 3,591,842	商業・専門サービス 家庭用品・パーソナル用品 商業・専門サービス
小計	株数・金額 36,766	42,483	192,254	31,089,465	
	銘柄数<比率>	3	—	<9.9%>	
合計	株数・金額 160,944	183,388	—	306,214,842	
	銘柄数<比率>	33	—	<97.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年8月23日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 306,214,842	% 97.6
コール・ローン等、その他	7,555,067	2.4
投資信託財産総額	313,769,909	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(313,061,616千円)の投資信託財産総額(313,769,909千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=137.30円	1 ユーロ=136.46円	1 イギリスポンド=161.71円	1 スイスフラン=142.43円
1 スウェーデンクローネ=12.82円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	314,221,447,614
コール・ローン等	7,159,855,828
株式(評価額)	306,214,842,392
未収入金	451,538,431
未収配当金	395,210,963
(B) 負債	1,535,236,636
未払金	452,001,330
未払解約金	1,083,234,045
未払利息	1,261
(C) 純資産総額(A-B)	312,686,210,978
元本	57,638,361,999
次期繰越損益金	255,047,848,979
(D) 受益権総口数	57,638,361,999口
1万口当たり基準価額(C/D)	54,250円

<注記事項>

- ①期首元本額 50,818,246,173円
 期中追加設定元本額 12,561,407,880円
 期中一部解約元本額 5,741,292,054円
 また、1口当たり純資産額は、期末5,4250円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	33,889,730,636円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	13,775,440,751円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	6,542,232,934円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	2,046,312,487円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	1,384,645,191円
合計	57,638,361,999円

○損益の状況 (2022年2月25日~2022年8月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,837,919,978
受取配当金	2,827,620,753
受取利息	10,786,988
その他収益金	39,561
支払利息	△ 527,324
(B) 有価証券売買損益	36,257,622,300
売買益	50,054,004,865
売買損	△ 13,796,382,565
(C) 保管費用等	△ 18,021,127
(D) 当期損益金(A+B+C)	39,077,521,151
(E) 前期繰越損益金	188,783,990,082
(F) 追加信託差損益金	50,695,710,964
(G) 解約差損益金	△ 23,509,373,218
(H) 計(D+E+F+G)	255,047,848,979
次期繰越損益金(H)	255,047,848,979

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。